

ハシゴデザイン グラフィックデザイナー アートディレクター たかはし えいいち 高橋 栄一 氏

課題を解決し、機能するデザインをお客様と一緒に創っていききたい



PROFILE

1977年生まれ、新潟市出身。20代前半からイラストを描き始め、制作会社に採用される。その後、新潟市内の広告代理店の制作部で14年の経験を積み、2018年に独立。ハシゴデザインを創業する。企業・店舗のV.Iなど全体のブランドイメージを形成するデザイン、ポスターやパッケージなどのツール制作まで幅広く手掛ける。

●受賞歴

NIIGATA ADC 審査員特別賞 (2014)
Re Design Exhibition 1位 (2015)
NIIGATA ADC 準グランプリ (2019)
JAGDA/Graphic Design in Japan
2020/This One! (2020)

新潟県内の企業・店舗からの依頼を中心に、ロゴやパッケージ、ポスターなどの制作からV.I*まで、さまざまなデザインを提供するハシゴデザイン。創業から5年目を迎え、新たな事業にも挑戦したいという代表の高橋さんに、お話を伺いました。



ハシゴデザイン

〒950-0077

新潟市中央区天明町1-3

TEL : 025-244-8450

<https://www.hashigodesign.com>

心がけているのは“自分が楽しむ”
ということ。楽しんで制作した方が
結果的に上手くいくし、次の仕事に
も繋がっています

独立開業の準備に向けて 「にいがた創業塾」に参加

デザイン制作、各種ディレクションを手がけるハシゴデザインは、広告代理店に勤めていた高橋さんが2018年に創業。独立する2年程前から開業の準備を始め、商工会議所主催の「にいがた創業塾」に2回参加した。「1回目のときは独立について具体的には考えていなかったのですが、2回目は開業を決めて参加しました。講座の中で事業計画書を作成できたこと、それをタイミングよく“起業チャレンジ応援事業”に申請することができたことが良かったです」と高橋さん。さらに創業塾の参加者同士で交流が深まり、その後も仕事で繋がりができるなど、貴重な出会いの場になったという。

導き出したコンセプトを基に ブランドイメージを形成

ハシゴデザインは「企業や生活者の課題を解決し、結果にこだわるデザインを提供する」がコンセプト。そのためには「クライアントさんがやりたいことを、自分事として理解するように心がけています。本当に求められていることは何なのか、本質を捉えられたときは上手くいくし、その仕事がきちんと機能したときは嬉しいです」と語る。

また、企業や店舗のV.I*など全体のブランドイメージを形成する制作では、クライアントへの丁寧なヒアリングからコンセプトを導き出し、ロゴなどのデザインを作成、展開していく。「代理店などは営業がお客様と打合せをし、それを基に制作部が仕事をしますが、私の場合は自分で直接話を聞いて自分で制作する。お客様と一緒に創っていくような仕事がしたかったので、楽しいですね」。



新潟市・白山駅前にある「野上製パン店」のV.Iでは、店主からさまざまな話を聞いた上で、幅広い年代に浸透するようなデザインを心がけた。どこか懐かしさを感じるロゴや、温かみのあるポスターが印象的だ。

事務所を活用した新事業を計画 DIYやデザインを楽しめる場所に

仕事の内容が幅広くなったことから、今後はスタッフの採用も検討しているという高橋さん。さらに、空き家をリノベーションした事務所の1階部分を活用し、新たな事業を計画している。「普段の事業はBtoBなので、BtoCをやってみたいと思いました。近くの商店街にはいろいろな店があるので、自分もこの建物を使って何かできないかと考えたのです」。それが、お客様自身が好きな紙を選び、その場でノートや手帳を作ることができるDIYの店。新潟県の新事業チャレンジ補助金を活用し、現在準備を進めているところだ。

「このエリアは空き家も多いのですが、近くの路地や街中に店や会社が増え、若い人や面白い人たちが集まってくれば、もっと楽しくなると思います」。今後もデザインの視点からさまざまな課題を解決するとともに、多くの人がデザインやモノづくりを楽しめる場所を提供していく。

*V.I (Visual Identity) : ビジュアルアイデンティティの略称。企業やブランドのロゴ、商標、色、フォントなど視覚的に表現した一貫性のあるデザイン要素をまとめたもののこと。



オリジナルのノートや手帳をお客様が作るDIYコーナーを、事務所1階に設置。新事業チャレンジ補助金を活用し、数十種類の紙を揃えた棚、製本機や裁断機、名入れできる機械などを準備した。